

$r > g$

# マルクス・ピケティ・ドラッカー (富の公正な分配とデジタル時代)

資本収益率 経済成長率  
return growth

12月①のごあいさつ

山内公認会計士事務所  
2020年12月1日(火)

商品の価値、つまり富を形成するものは何か？

カール・マルクスは、その著「資本論」において、**労働価値説**によって、**労働を富の父**としたペティの理論を発展させて、富は社会的必要労働によって決定されるとした。それによって、**資本家の富の独占は批判**されることになった。

トーマス・ピケティは、その著「21世紀の資本」において、**企業の資本収益率は歴史的にGDP成長率より大きい**。この状況は今後ずっと続き、格差は、ますます広がるとした。ピケティは、「世界的な**資本収益率と経済成長の比較**、古代から2100年」において、資本収益率と経済成長率の推計を示し、歴史的事実として、資本収益率は、常に経済成長率よりも大きいという**不等式を成立**させている。

これは一部の企業家が労働者の生産価値を吸収し続ける。即ち**格差が益々広がる**ということになる。

ピケティは**現在及び将来の格差拡大**を指摘している。

ピータ・ドラッカーは、その著「**ポスト資本主義社会**」において、歴史は数100年に一度、際立った転換をし、「**歴史の境界**」を超えるとしている。

そのとき価値観、世界観が変わり社会構造が変化し、**異質な社会**となる。

この「境界」を越えた世代には、前の世代の世界は想像することのできないものとなる。

**マルクス主義が崩壊**すると同時に**資本主義も崩壊**し、**ポスト資本主義へ移行**し、「**生産手段**」は、もはや、資本でも、土地でも労働でもなく、それは「**知識**」となる「**知識社会**」への**移行**であるとしている。

そこには、労働価値説のマルクスの労働者社会やピケティの富の偏在が主なテーマではなく、知識を生産手段とする**知識階級が資本を所有するもの**としている。

富の独占者がいなくなり、格差による富の成功者もいなくなった時、**知識階級による富の支配**はどのようなものになるのだろうか。

デジタル時代は、その幕開けであろうか。デジタル化による生産や商業、流通の古い習慣や不効率を改め、社会全体にそのような社会を支配するのは、知識であり、知識が資本に代わって社会を支配する。**情報も格差**がなくなる。

しかし、知識階級による富の支配は、人口の1%の富裕層が世界の富の半分を手にするとも言われ、富の公正な分配は、期待できるのだろうか。AIの進化は不公正の分配の上に全体の分配増を期待できるだろうか。